



# わたしの聖戦<sup>ジハド</sup>

女性が働くということ

医学ジャーナリスト・医学博士 植田美津恵

186

## 今さらながらのヘレン・ケラー

ヘレン・ケラーの名を  
知らない人は、おそらく  
皆無だろう。

今なお、映画や舞台で  
彼女の人生や生き様が描  
かれ、多くの人に感動を  
与えている。

私自身、多感な頃に自  
伝を読んで、瑞々しくか  
つ深い感動を覚えたもの  
だ。

ヘレン・ケラーは18  
80年、アメリカのアラ  
バマ州に生まれた。2歳  
を迎える間際に高熱を発し、聴覚と視覚、  
そして声を失う。

真つ暗で音のない世界  
に身を置き、言葉で感情  
を表すことさえできない  
絶望的な状況。とても自  
分には考えられない。当

かつて読んだ伝記によ  
つて、私が得たヘレンに  
関する知識はせいぜいこ  
こまでだった。今回、あ  
るところ、色々と驚かさ  
ることがあり、改めて  
心動かされた。

名門大学を優秀な成績



いつた。このバ  
イタリティには  
舌を巻くばかり  
だ。

ところで、日  
本は昭和20年か  
ら7年間、アメ

リカG H Qの占  
領下にあつた。

この間に、憲法

をはじめ、重要

な社会保障関連

法が次々と成立

している。当時、G H Q

が出した指令を見ると、

日本の軍国主義や国家主

義を排除することが常に

揺るぎない目的だつたこ

とがわかる。G H Qの思

惑のひとつは、軍人に対

する恩給制度を廃止する

ことだつた。

寄付を集めた。さらに、  
各国でそれぞれ異なる点  
字を使っていた不便さを  
感じ、ルイ・ブライユが  
作った6点式の点字を国  
際標準化することに成功  
する。半世紀もヘレンを  
支えたアン・サリバンが  
亡くなつた後も、盲人救  
済活動を積極的に進めて  
いた盲人集団だ。ヘレ  
ン・ケラーの日本訪問は、  
昭和12年、23年、30年で  
ある。ヘレン・ケラーの  
来日キャンペーンをうまく活用し「盲人福祉法」  
立案に至り、その後に形  
を変え成立したのが「身  
体障害者福祉法」（昭和  
24年）だつた。

私は今回、福祉の歴史  
を調べるためにあたり、ヘレ  
ン・ケラーと日本福祉との  
関わりを知り、遠い昔  
に触れたヘレン・ケラー  
の人が、新しく蘇つて  
くるような新鮮さを覚え  
た。

最後に、大好きなヘレ  
ン・ケラーの言葉を心込  
めて紹介したいと思う。  
「人生はどちらかです。  
勇気をもつて挑むか、棒  
にふるか」

日本政府は、福祉政策  
を充実させるために、困  
窮状態にあつた軍人たち  
に代わる救済集団を作る  
必要があつたのだ。それ  
が、当時就職難に陥つて  
いた盲人集団だ。ヘレ  
ン・ケラーの日本訪問は、  
昭和12年、23年、30年で  
ある。ヘレン・ケラーの  
来日キャンペーンをうまく活用し「盲人福祉法」  
立案に至り、その後に形  
を変え成立したのが「身  
体障害者福祉法」（昭和  
24年）だつた。

私は今回、福祉の歴史  
を調べるためにあたり、ヘレ  
ン・ケラーと日本福祉との  
関わりを知り、遠い昔  
に触れたヘレン・ケラー  
の人が、新しく蘇つて  
くるような新鮮さを覚え  
た。

最後に、大好きなヘレ  
ン・ケラーの言葉を心込  
めて紹介したいと思う。  
「人生はどちらかです。  
勇気をもつて挑むか、棒  
にふるか」